

# 旅をつづる

平成26年 1月4日(土)～2月11日(火・祝)

情報が少なく交通手段が未発達だった時代から、日本人は旅のありさまを文字に書き残してきました。公務や放浪・巡礼など、旅の動機はさまざまですが、人々は異郷を巡り目に触れた珍しい風景や風俗を、文章や詩歌のかたちに残して伝えました。とりわけ領国と江戸を往復する参勤交代が重要な公務であった江戸時代の大名にとって、旅は身近な存在でした。

紀行文や旅日記など、旅の様子を伝える文芸作品を中心に紹介します。

所蔵者の表記がない作品は徳川美術館所蔵、 印は名古屋市蓬左文庫蔵。

名 称	時代・世紀	所 蔵 者
<b>旅と詩歌</b>		
1 万葉集	二十冊の内	江戸 17-18
2 万葉集註釈 仙覚著		江戸 17
3 富士図 春・夏 伝相阿弥筆	四幅対の内	室町 15-16
4 古今和歌集 仮名序 伝頼阿筆		鎌倉-南北朝 14
5 伊勢物語(定家本) 伝九条忠栄筆		室町 15
6 校訂伊勢物語図会 市岡猛彦校・岡田玉山画 三冊の内		江戸 文政8年<1825>
7 土佐日記		江戸 17-18
8 後拾遺和歌集		江戸 18-19
9 西行物語絵巻(海田采女佑本) 模本 六巻の内二巻 絵 甘露寺規長・篤長筆・詞書 伏原宣條筆		江戸 安永4年<1775>
10 山家和歌集		江戸 17-18
11 新古今和歌集		室町 15-16
12 明月記	四十八冊の内	江戸 17-18
13 老葉集 宗祇著・宗長註	二冊の内	江戸 17
14 筑紫紀行 宗祇著・堀田知之写		江戸 安永4年<1775>
15 道中宿付 徳川家康筆		江戸 慶長17年<1612>
16 塵躰和歌集 加藤忠広(熊本加藤家2代)筆		江戸 17
17 奥の細道図巻 与謝蕪村筆 二巻の内 坂田宏氏・太田美知子氏寄贈		江戸 18
18 東行話説 土御門泰邦著		江戸 19
<b>大名、旅をつづる</b>		
<b>参勤交代と東海道の旅</b>		
19 御道之記 高原院春姫(尾張家初代義直正室)著		江戸 19
20 東海道記 小堀遠州筆		江戸 17-18
21 夏の日国に帰の記 徳川齊荘(尾張家12代)筆		江戸 天保14年<1843>
22 参府行列図(尾張家参勤交代図) 小田切春江筆		江戸 19
23 参府行列図(尾張家参勤交代図)		江戸 19
24 東海道名所風景 歌川国貞(3代豊国)ほか画		江戸 文久3年<1863>
25 東海道分間絵図 五帖の内 遠近道印作・菱川師宣画・万屋清兵衛刊		江戸 正徳元年<1711>

名 称	時代・世紀	所 蔵 者
-----	-------	-------

### 地方巡検の旅

26 知多の枝折	徳川齊荘(尾張家12代)筆	江戸 天保14年<1843>
27 知多御道記	徳川齊荘(尾張家12代)著	江戸 19
28 岐阜の道しるべ	徳川齊荘(尾張家12代)筆	江戸 天保14年<1843>
29 御在所絵日記	二冊	江戸 弘化3年<1846>

### 日光社参

30 亜槐光友卿詠歌集		江戸 18
31 日光道之記		江戸 19
32 日光街道之図	徳川齊昭(水戸家9代)作・登美宮吉子(水戸家9代齊昭正室)筆	江戸 18-19
33 日光山絵図		江戸 18-19
34 葵紋彫矢建		江戸 19
35 蜀紅葵紋散蒔絵矢建		江戸 19
36 駕籠用行火	一対の内	江戸 19

以上

# 名所図会の世界

平成26年 1月4日(土)～2月11日(火・祝)

江戸時代の尾張の景観を知ろうとする時、必ず参照されるのが『尾張名所図会』という本です。野口道直・小田切春江ら尾張の文人が総力を挙げてまとめたこの本は、正確な鳥瞰図と詳しい解説によって、尾張の名所を余すところ無く描いています。

『尾張名所図会』のような名所図会と呼ばれるタイプの本は、安永9年(1780)刊行の『都名所図会』に始まり、十九世紀を通じて流行しました。「名所」を描いた挿絵(図)を集め(会)、そこに解説を加えたものが「名所図会」の基本パターンです。「名所図会」は江戸時代後期の旅ブームを背景に、各地で次々と刊行されました。

この展示では、蓬左文庫の所蔵する各地の「名所図会」によって、およそ200年前の景観をたどるとともに、『尾張名所図会』編さんに関わる資料を紹介し、「名所図会」編さんの裏がわを探ります。

所蔵者の表記がない作品は名古屋市蓬左文庫蔵、印は名古屋市博物館蔵を示す。

名称	時代・世紀	所蔵者
<b>「名所図会」の成立と流行</b>		
1 都名所図会	秋里籬島編・竹原春朝斎画 六冊の内二冊	江戸 安永9年<1780>
2 拾遺都名所図会	秋里籬島編・竹原春朝斎画 五冊の内	江戸 天明7年<1787>
3 再撰花洛名勝図会	暁鐘成・川喜多真彦編・松川半山等画 八冊の内	江戸 文久2年<1862>
4 京都絵図		江戸 天保2年<1831>
5 大和名所図会	秋里籬島編・竹原春朝斎画 七冊の内二冊	江戸 寛政3年<1791>
6 紀伊国名所図会	初編 高市志友編・西村中和画 五冊の内二冊	江戸 文化8年<1811>
7 日光山志	植田孟縉編・渡辺華山等画 五冊の内二冊	江戸 天保8年<1837>
8 日光御山之絵図		江戸 18-19
9 東海道名所図会	秋里籬島編・竹原春朝斎画 六冊の内二冊	江戸 寛政9年<1797>
10 木曾路名所図会	秋里籬島編・西村中和画 七冊の内二冊	江戸 文化2年<1805>
11 伊勢参宮名所図会	部閑月編 八冊の内二冊	江戸 寛政9年<1797>
12 神都名勝誌	神宮司庁編 七冊の内二冊	明治 明治28年<1895>
<b>『尾張名所図会』の編さん</b>		
13<初公開>小田切春江所用印	八顆	江戸-明治 19 個人蔵
14 尾張志	深田正韶等編・小田切春江等画 六十一冊の内二冊	江戸 天保15年<1844>
15 わすれぬさきの覚書	野口道直著	江戸 天保9年<1838>
16 梅居筆記	四 野口道直著	江戸 天保6年<1835>
17 三国嶺雅遊之図	小田切春江筆	江戸 嘉永7年<1854>
18 尾張名所図会	版木	江戸 19
19 尾張名所図会	前編 岡田啓・野口道直等編・小田切春江等画 七冊の内三冊	江戸 天保15年<1844>
20 野口道直六十宴之図并賛	小田切春江筆	江戸 天保15年<1844>
21 尾張名所図会	後編 岡田啓・野口道直等編・小田切春江等画 六冊の内三冊	明治 明治13年<1880>
22 清須総図	小田切春江筆	江戸-明治 19 個人蔵
23 尾張名所図会挿絵草稿	小田切春江筆 三帖	江戸 19 個人蔵
24 小治田之真清水	六冊の内二冊	昭和 昭和5-8年<1930-33>
25 尾張名所図会	後編 卷之五 岡田啓・野口道直編・小田切春江等画	明治 明治13年<1880>
26 三輪氏系図	小田切春江筆	江戸-明治 19 個人蔵

以上